

はじめに

人口減少、高齢化が急速に進展する中で、地域社会の活力を維持するためには、高齢者の方々が地域社会の担い手として、その豊富な知識や経験・技能を生かして、社会参加ができるような環境整備を行うことが必要です。

このため、県では、平成20年度から元気高齢者チャレンジ推進事業を実施し、今年で11年目を迎えました。この間、高齢者の方々の社会参加と地域貢献活動が様々な分野で着実な広がりを見せており、こうした状況を踏まえ、今年度も県内各地域から7団体を選定し、昨年10月17日にかごしま県民交流センターにおいて「高齢者を中心とした地域貢献活動団体表彰式・事例発表会」を開催しました。

本活動事例集は、今回表彰された7団体の活動事例と、曾於市大隅町坂元「おろんの会」事務局長 太良木義文氏による“今日も 明日も 精一杯”～地域のために 自分のために～と題した基調講演の内容を取りまとめたものです。

この活動事例集が、今後、高齢者の皆様をはじめ幅広い方々に活用され、地域貢献活動を始めるきっかけや、現在取り組まれている活動の参考にしていただければ幸いです。

最後に、当事業にご応募いただきました各団体の皆様をはじめ、表彰式・事例発表会の開催にあたりご協力を賜りました関係機関・団体の皆様方に厚くお礼申し上げます。

平成31年3月

鹿 児 島 県

社会福祉法人
鹿児島県社会福祉協議会